

令和4年3月

伊東市議会 3月定例会

一般質問要旨

伊東市議会

一 般 質 問 順 序

- 1 佐 藤 周 君
(3月4日(金) 10時～10時50分)
- 2 篠 原 峰 子 君
(3月4日(金) 11時～11時50分)
- 3 鈴 木 絢 子 君
(3月4日(金) 13時～13時50分)
- 4 鳥 居 康 子 君
(3月4日(金) 14時～14時50分)
- 5 仲 田 佳 正 君
(3月7日(月) 10時～10時50分)
- 6 佐 藤 龍 彦 君
(3月7日(月) 11時～11時50分)
- 7 四 宮 和 彦 君
(3月7日(月) 13時～13時50分)
- 8 浅 田 良 弘 君
(3月7日(月) 14時～14時50分)
- 9 重 岡 秀 子 君
(3月7日(月) 15時～15時50分)
- 10 田 久 保 眞 紀 君
(3月9日(水) 10時～10時50分)
- 11 石 島 茂 雄 君
(3月9日(水) 11時～11時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 周

- 1 本市の都市計画等について、以下3点伺う。
 - (1) 本市においても、サテライトオフィスやコワーキングスペースの整備に係る支援施策があるが、社会のニーズが大きく変化していることは、これからの都市計画に影響を与えると考えることから、伊東市都市計画マスタープラン改定の見込みについて伺う。
 - (2) 伊東市立地適正化計画について、他市町においては子育て支援施設を誘導施設から除外しているケースがあるが、本市においては小・中学校を誘導施設から除外している一方で、保育所、幼稚園及び認定こども園を誘導施設に設定している理由を伺う。
 - (3) 伊東市立地適正化計画を策定する際、地域の危機対策の要であり、地域防災に重要な役割を担う伊東市消防団の編成の見直しが必要と考えるが、今後の見通しについて伺う。

- 2 確約書問題における伊東市政治倫理審査会の報告を受けて、本市の内部統制に係る取組の状況について、以下3点伺う。
 - (1) コンプライアンス、公務員倫理、リスクマネジメント等の研修について、各部署、各役職に応じたものを計画・実施されているが、当該研修の成果をどのように評価しているか伺う。
 - (2) 公益通報委員会によって調査審議が行われる公益通報制度の運用状況及び実績を伺う。
 - (3) 令和4年度から予定されているコンプライアンスリーダーの配置について、現在の進捗状況を伺う。

3 人工芝生化が進められている市民運動場について、以下2点伺う。

(1) 事業の進捗状況と完成後の利用方法について伺う。

(2) 市外利用者の需要増加を見込み、スポーツツーリズム推進等につながる新規事業を実施する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

- 1 避難行動要支援者についての個別避難計画の作成に向けた取組に関し、以下3点について現状及び課題並びに今後の見通しを伺う。
 - (1) 個別避難計画作成の進捗について
 - (2) 情報提供の同意しやすい書面内容の工夫について
 - (3) 同意しない場合の災害時の避難支援について

- 2 伊東市総合防災ガイドブックの避難所一覧には福祉避難所の記載があるが、福祉避難所の開設についての現状及び課題を伺う。

- 3 発達の気になる子供に関する相談先として、本市では主に子育て支援課と家庭児童相談室があるが、あまり周知されていないと思われることから、相談支援につなげるための分かりやすい窓口を設けるべきと考えるがいかがか。

- 4 教育と福祉の連携について、以下5点伺う。
 - (1) 学校と放課後等デイサービスにおいて、子供への支援計画及び必要な支援情報等について共有するためのケース会議を定期的に行う必要があると考えるが、現状と課題を伺う。
 - (2) 障がいのある子供が利用することができる福祉制度について、学校の教職員等への情報提供がされているか伺うとともに、発達障害に関する保護者用パンフレットの作成が必要と考えるがいかがか。

- (3) 国が示す教育と福祉の連携及び協働の推進については、今後ますますその必要性が高まると思うが、本市の考えを伺う。
 - (4) 幼稚園・保育園において現在行われている発達支援の状況、課題及び今後の見通しを伺う。
 - (5) 小・中学校における特別支援教育アドバイザーと、校務分掌にある特別支援教育コーディネーターのそれぞれの役割及び現状並びに課題について伺う。
- 5 小・中学校の特別支援学級に通う児童・生徒におけるキャリア教育についての指導内容及び目指す方向性について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鈴 木 絢 子

- 1 伊東駅前広場の整備について、以下3点伺う。
 - (1) 現在の進捗状況について伺う。
 - (2) 現状の駅前ロータリーの課題を伺うとともに、その課題の解消に向けた取組について、本市の考えを伺う。
 - (3) 送迎時などに気軽に短時間等でも利用できる駐車場などが必要と考えることから、駅前広場を整備するに当たっての駐車場の整備に関し、本市の考えを伺う。

- 2 本市において、自然を楽しむ場所に行く方やハイキングをする方が増えたと感じることから、以下2点伺う。
 - (1) 本市のハイキングコースの整備状況を伺うとともに、今後の取組について伺う。
 - (2) ハイキングコースもある健康回復公園「大平の森」の整備状況を伺うとともに、今後の活用方法について伺う。

- 3 郷土を知る学びに関し、小・中学校における現在の取組を伺う。また、持続可能なまちづくりを考えていく上で、歴史や自然など郷土の魅力に子供の頃から触れることはとても重要だと考えるが、本市の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鳥 居 康 子

- 1 競輪事業について、車券売上げの好調の要因を伺うとともに、一般会計への繰入れの状況を伺う。また、競輪場所有者が（株）チャリ・ロトとなって約一年が経過するが、所有者としての施設改善計画が示されているか伺う。
- 2 伊東駅周辺地区整備事業における今後のスケジュールについて、伊東駅前広場、同広場東側街区は令和6年度から整備に着手できるよう進めていくことが示されているが、現在の進捗状況を伺う。
- 3 コロナ禍においても、再就職、転職及びスキルアップを図る人たちをサポートする事業として求職者支援制度があり、制度の申込み及び相談窓口はハローワークとなっているが、制度の利用促進には自立支援相談機関などの福祉機関の役割も重要と考えることから、制度に対する本市の関わりの状況を伺う。
- 4 障害者手帳を申請する際に必要な診断書等の取得に際し、費用が生じていることから、障がい者サポートの一助として、費用助成制度を導入する考えはないか伺う。また、スマートフォン向けアプリ等による手帳情報のデジタル化が推進されているが、導入により手帳の提示がスムーズになり、負担軽減になると考えるが、いかがか。
- 5 妊婦や子育て世帯へのサポートの一つとして、現在行われている訪問型支援に加え、オンラインによる妊婦講座及び子育て世帯への相談サポートを取り入れる考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 仲 田 佳 正

- 1 今後、ますます進むであろう少子高齢化社会では、生活をしていくための公共交通機関の充実はとても大事になると考えるが、市民生活の利便性向上及び高齢者の移動手段等確保の観点から、以下2点伺う。
 - (1) 既存のバス路線とは異なる、公共施設や商業施設等を周回するコミュニティバスの運行について、本市の考えを伺う。
 - (2) 市内事業者による運転免許返納後の高齢者への支援の中には、移動支援へとつながるものもあることから、本市の高齢者運転免許証自主返納支援事業のさらなる周知について、本市の考えを伺う。
- 2 本市の観光スポットである城ヶ崎海岸について、全長約9キロメートルにわたるピクニカルコースと自然研究路の現状の活用方法を伺うとともに、今後の整備計画について伺う。
- 3 選挙の投票率向上のためには、期日前投票が鍵を握ると考えることから、期日前投票をさらに多くの方に利用していただけるよう積極的な周知を図ることについて、本市の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 龍 彦

1 本市の都市計画道路について、以下2点伺う。

(1) 令和元年度から令和3年度にかけて実施した都市計画道路再検証調査の概要及び結果について

(2) 今後の整備の方向性について

2 新型コロナウイルスに感染し、自宅療養となった方へ食料等の支援を行っている自治体もあるが、本市も導入する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

1 令和3年12月21日に市長に報告され、その後公表された伊東市政治倫理審査会における「伊豆メガソーラーパーク合同会社と交わした確約書について」の審査結果報告について、以下3点伺う。

(1) 第1回会議で、審査会を非公開とする決定がされたことについて、以下2点伺う。

ア 非公開の理由について、企画部長は、委員の自由な発言、忌憚のない意見を求めるために非公開にした旨を市議会12月定例会において答弁しているが、当該会議録を見る限り、条例に規定する「特別な理由」について、いずれの委員も言及がないままに非公開を決定しており、会議録上も明示されていない。これは伊東市長等の政治倫理に関する条例第13条第4項ただし書に違反すると思われるがいかがか。

イ 政治倫理審査会委員は、条例上、法律又は会計に関する専門的知識を持つ者等に市長が委嘱することが規定されているが、選任された委員が、個別の市条例についてまで精通しているとは限らないことから、事務局からの助言が必要となると考える。審査会を非公開とするに当たり、事務局は、条例の規定について、適切な助言を行ったか伺う。

(2) 第2回会議で行われた市長聴聞における委員からの質問に対する市長の回答について、以下6点伺う。

ア 委員からの質問に対して市長は、建設部職員に「委任状を託し、相手との水面下での交渉を依頼した」旨の回答をしているが、職員に対して委任した権限はどのような内容か伺う。

イ 確約書を作成するきっかけとして、「いろいろな方面からも、心配の声があり、何か打開策は考えておいたほうがよいという意見」、あるいは「多くの知り合いの弁護士から、裁判の流れからしても圧倒的に不利であり、事業はやられるは損害賠償金は取られるはということは、絶対避けたほうがいいので和解したほうがよいと

「このような意見」があったとのことであるが、何ら法的知識のない「いろいろな方面」の方々であればともかく、法律の専門家たる弁護士がそのような判断になるとはわかには信じ難い。仮に、事実であるとすれば、市長に対して、このような無責任な助言を行った「多くの知り合いの弁護士」の責任は極めて重いと言わざるを得ない。市長はこのような発言をどのように受け止めたのか伺う。

ウ 確約書の文面については、「一方的に先方が作成したものであるので、何点か協議や修正をしたような記憶があり、先方から言われるがままに署名したものではない。」としているが、先方から言われた内容とはどのようなものであり、それをどう修正したのか伺う。

エ 事業者から市長宛てに複数回送られてきたとされる損害賠償に関わる通知文書については、顧問弁護士に報告をしていたとのことであるが、それに対して、顧問弁護士はどのような意見であったか伺う。

オ 聴聞の最後に「法規に則って私たちは手続を進めることになり、具体的には、河川占用について許可を出すのだから、先方に対し、損害賠償だけはしないでほしいという気持ちだった」と市長は述べているが、市長は、河川占用不許可処分が違法なものであると考えていたのか伺う。

カ 確約書問題は、市長が、顧問弁護士や副市長に相談していれば、起きるはずのない事案であったと考えられるが、なぜ、相談しなかったのか伺う。

(3) 審査結果報告書に付記された「審査会からの意見」に対する対応について、現在どこまで進んでいるか伺う。

2 伊東市政治倫理審査会は、伊東市長等の政治倫理に関して審査する組織であることから、確約書事案に関与した建設部職員については審査の対象としておらず、その後、懲戒処分において「戒告」という結果だけが公表され、どのような審査によって、処分が決定されたのか明らかでないことから、処分の妥当性について、以下2点伺う。

(1) 懲戒処分は、文書取扱規程違反を理由に、懲戒処分としては最も軽い「戒告」にとどめているが、伊東市役所文書取扱規程のどこに抵触するものと判断したか伺う。

(2) 政治倫理審査会の審査の中でも、一部指摘されているところであるが、同職員は、市長の委任状を持って、相手方と水面下で交渉を行っており、確約書事案に関しては、非常に重要な役割を担っていたと言え、文書取扱規程といった限定的な違反にとどまったことには、行為の重大性を考えると違和感がある。行為の総体として重大な非行行為を認定することも可能であったと考えるが、文書取扱規程違反のみとなった理由を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

- 1 国立伊東重度障害者センターが埼玉県所沢市の国立障害者リハビリテーションセンターに統合され5年が経過したが、その跡地について、鎌田区では地域タウンミーティング等で旧市民病院跡地を含めた利活用についての要望がされていることから、管理者である東海財務局静岡財務事務所の跡地利用方針に関して本市が把握している情報を伺うとともに、本市としてどのような意向を持っているか伺う。
- 2 観光産業の喚起策として、食と観光を結びつける「ガストロノミーツーリズム」や、日本独自の歴史や伝統文化などの体験ツアー「カルチャーツーリズム」が国内外で注目されていることから、本市の特徴を生かした食文化や地域の歴史、生活文化を体験する、新たな旅行形態の推進について、本市の考えを伺う。
- 3 「伊東市美しい景観等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例」が制定され、約4年が経過するが、昨今の異常気象に伴う豪雨による土壌侵食や自然環境保全等の必要性から、条例第8条の適用除外規定を見直す時期と考えるが、いかがか。

4 加齢や疲労、ストレス等による免疫力の低下により、50歳以上の方に発症しやすい帯状疱疹に関して、ワクチン接種は、発症を抑え後遺症を残さない唯一の方法とされているが、公衆衛生の向上及び本市における予防接種事業の充実を図る観点から、帯状疱疹ワクチン接種の公費助成について本市の考えを伺う。

5 新型コロナウイルス感染症で、自宅療養となった陽性者や濃厚接触者の中には、食料品等の調達に支障が生じているケースがある。自宅療養者に対する食料品等の支援は県で実施しているが、市町村における支援も拡大していること、また、本市においても感染者の増加が顕著である現状に鑑み、自宅療養期間の食料品等の支援は不可欠と考えるが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

1 市長の確約書問題に関し、以下3点伺う。

- (1) 河川占用不許可処分や、一審判決における敗訴を受けての控訴を決定するに当たり、どのような協議を経たのか伺うとともに、その記録はあるのか伺う。
- (2) 市長は、賠償金の請求を受けると市民に多大な迷惑をかけると考え、確約書に署名してしまった旨の説明をしているが、賠償金請求の根拠となる本市の行為はどのようなものであり、賠償額についてどのような提示がされたのか伺う。
- (3) 政治倫理審査会からの意見の中で、再発防止のための環境・体制づくりに対していくつかの提言が示されていることから、本市として、今後どのような取組を行っていくのか伺う。

2 地域医療支援病院である伊東市民病院の運営に関し、以下2点伺う。

- (1) 初診料が近隣の総合病院と比べて高額であることに疑問を呈する市民も多いことから、その根拠を伺う。
- (2) 地域医療支援病院の承認要件として救急医療を提供する能力を有することが必要となることから、重症の救急患者の受入れに関し、現在どのような体制となっているのか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 田久保 眞 紀

- 1 本市における行政評価制度への取組状況について伺う。

- 2 伊豆メガソーラーパーク合同会社と交わした確約書の問題について、以下3点伺う。
 - (1) 市長に確約書を渡すなどした職員が戒告処分を受けたとの報道がされたが、その内容について

 - (2) 担当職員が確約書作成に関わっていたことが政治倫理審査会で報告されたが、その事実関係について

 - (3) 政治倫理審査会の報告を受けた今後の本市の対応について

- 3 開発行為における住民の懸念を払拭するためには、事業者と住民との同意が必要と考えることから、本市で行われている開発事業等に伴う協定書、確認書等の取扱いについて、以下2点伺う。
 - (1) 八幡野川への河川占用許可申請に関し提出された協定書及び確認書について

 - (2) 荻区資材置場造成事業に関し提出された協定書について

一 般 質 問 要 旨

議 員 石 島 茂 雄

1 万葉の小径はハイキングコースとして親しまれているとともに、周辺地域は現在放送中のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」のゆかりの地であり、大室山噴火の際にできた柱状節理が見られるなど、複合的に価値のある場所であることから、万葉の小径・稚児ヶ淵周辺の環境整備を行うべきと考えるがいかがか。

2 金属スクラップヤードについて、火災や汚水などの問題が発生している自治体があると聞くことから、本市における現状を伺うとともに、スクラップヤードの管理に関し、規制する対策が必要であると考えられるがいかがか。

3 5歳から11歳までの子供を対象とした新型コロナワクチンの小児接種が3月から開始されることに伴い、以下2点伺う。

(1) 小児接種の安全性に対する考えを伺う。

(2) 接種を強要されたり、接種しないことで差別的な扱いを受けないようにするため、どのような配慮がされているか伺う。